

## みずほ公益インフラ関連ハイブリッド証券ファンド2016-01 (為替ヘッジあり)

### 直近の運用状況について

2016年3月18日

平素は、「みずほ公益インフラ関連ハイブリッド証券ファンド2016-01(為替ヘッジあり)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。当ファンドの直近の運用状況について、お知らせいたします。

#### 《基準価額・純資産の推移》

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

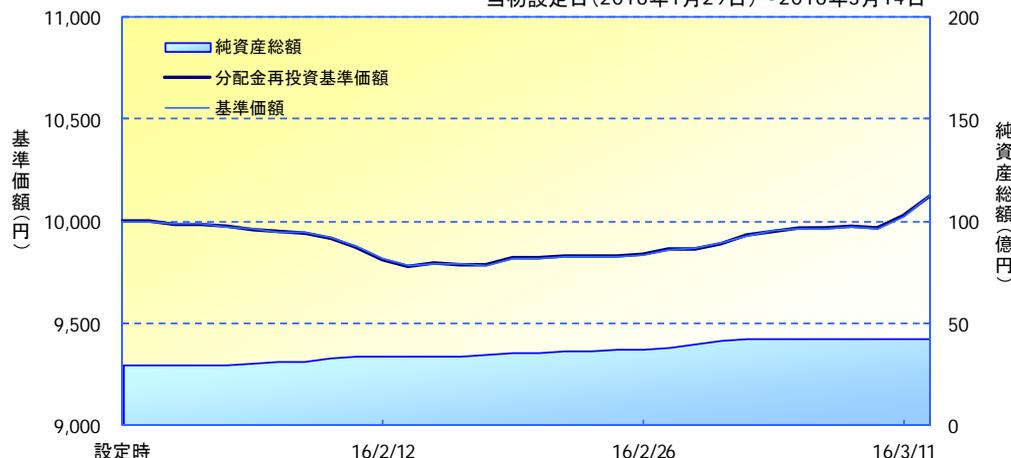
2016年3月14日現在

基準価額	10,122 円
純資産総額	42億円

#### 期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	+3.1 %
3カ月間	----
6カ月間	----
1年間	----
3年間	----
5年間	----
年初来	----
設定来	+1.2 %

当初設定日(2016年1月29日)～2016年3月14日



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。  
 ※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。  
 ※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。  
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

#### 《主要な資産の状況》

※比率は、純資産総額に対するものです。

#### 資産別構成

資産	銘柄数	比率
外国債券	25	91.3%
コール・ローン、その他※		8.7%
合計	25	100.0%

※外貨キャッシュ、経過利息等を含みます。  
 \*当ファンドが投資対象とするハイブリッド証券(劣後債、優先証券)は、外国債券として表示しています。

#### 通貨別構成 合計100.0%

通貨	比率
日本円	94.9%
ユーロ	3.8%
英ポンド	0.9%
米ドル	0.5%

※保有する外貨建て資産の比率から、為替予約取引の比率を差し引いた実質的な比率を表示しています。

#### 格付別構成 合計100.0%

格付別	比率
AAA	---
AA	---
A	14.7%
BBB	75.5%
BB	9.9%
B以下	---

※格付別構成の比率は、ポートフォリオに対するものです。  
 ※格付別構成について、海外発行体はMoody's、S&P、Fitchで格付けの高いものを採用し、算出しています。

#### ポートフォリオ特性値

直接利回り(%)	6.1
最終利回り(%)*	4.4
修正デュレーション(年)*	2.5

\*次回コール日を基に算出しています。

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

## 《主要な資産の状況》

※比率は、純資産総額に対するものです。

業種別構成		合計91.3%
業種		比率
銀行		26.0%
電力		18.6%
通信サービス		18.2%
天然ガス		10.5%
その他公益		9.5%
エネルギー		5.3%
保険		3.3%

国・地域別構成		合計91.3%
国・地域		比率
フランス		33.8%
オランダ		13.4%
イギリス		9.6%
オーストリア		7.9%
ドイツ		6.9%
イギリス領バージン諸島		5.8%
イタリア		5.6%
メキシコ		4.8%
オーストラリア		3.4%

※業種別構成は、パイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッドが提供するデータを基に大和投資信託が作成したものです。

組入上位10銘柄				合計46.0%
銘柄名	通貨	利率(%)	次回コール日	比率
Enel SpA	ユーロ	6.5	2019/01/10	5.6%
OMV AG	ユーロ	6.75	2018/04/26	5.3%
Engie	ユーロ	3	2019/06/02	5.2%
Barclays Bank PLC	英ポンド	14	2019/06/15	5.0%
AMERICA MOVIL SA de CV	ユーロ	5.125	2018/09/06	4.8%
Royal Bank of Scotland Group PLC	ユーロ	3.625	2019/03/25	4.7%
Telefonica Europe BV	ユーロ	6.5	2018/09/18	4.1%
RWE AG	英ポンド	7	2019/03/20	4.0%
Telefonica Europe BV	ユーロ	4.2	2019/12/04	3.8%
Societe Generale SA	ユーロ	9.375	2019/09/04	3.5%

※比率は、純資産総額に対するものです。

## 《参考》マザーファンドの通貨別構成

通貨	比率
ユーロ	63.2%
米ドル	16.4%
英ポンド	15.5%
日本円	4.9%
合計100.0%	

※比率は、マザーファンドの純資産総額に対するものです。

※以下のコメントは、パイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッドが提供するコメントを基に大和投資信託が作成したものです。

## ＜市場環境＞

ユーロ圏債券市場では、足元において金利が低位で推移しています。2月後半より原油価格が上昇し、市場のリスクセンチメントが改善する一方で、ECB(欧州中央銀行)による追加緩和への期待や英国のEU(欧州連合)離脱を問う国民投票への警戒感などから金利は低位で推移しました。しかし、3月上旬、ECBが追加緩和の発表後、追加利下げの打ち止め感から金利はやや上昇に転じています。

ハイブリッド証券市場はリスクセンチメントの改善に伴い堅調に推移しています。2月は、一部の大手銀行に対する不透明感の高まりや英国のEU離脱問題により金融セクターへの懸念が高まったことなどがリスクセンチメント悪化の要因となり、金融セクターだけでなく、産業セクター全体にも波及する形で信用スプレッドが拡大しました。しかし、3月は、原油価格の上昇やECBの追加緩和への期待を背景にスプレッドはタイト化しました。ECBの追加緩和策の発表後は、資産購入プログラムにおける購入対象資産に投資適格級のユーロ建て社債(除く銀行社債)が追加されたことが、クレジット市場全般に対するポジティブな材料となりました。

## ＜運用状況＞

マザーファンドの運用にあたっては、設定来、ユーロ建てを中心にハイブリッド証券へ投資を行い、ポートフォリオを構築しました。コールの実現性、利回りの確実性、格付け見通しなどのファンダメンタルズ分析を行い、銘柄を選定しています。

当ファンドにおいては、3月14日時点で25銘柄、組入比率は91.3%となっております。

なお、為替変動リスクを低減するため、外貨建資産に対して為替ヘッジ比率を高位に維持しております。

## ＜今後の見通しおよび運用方針＞

欧州の景気は、米国の利上げに対する思惑や商品市況、中国経済の減速に対する懸念などがリスク要因となりますが、大きなショックとならない限り、ECBによる金融緩和効果やユーロ安による輸出の増加のほか、原油価格の下落や個人消費の回復期待などを背景に底堅く推移すると考えています。

ハイブリッド証券市場につきましては、足元ではボラティリティの高い環境にありますが、発行企業が利払いを繰り延べるリスクは依然として低く、現在の信用スプレッドは魅力的な水準にあると考えております。今後は、相対的に高い利回りを追求する投資家にも支えられ、市場のボラティリティが落ち着くにしたがい、堅調に推移することが見込まれます。

## ＜組入上位銘柄の紹介＞

銘柄名	セクター	国	企業概況
Enel SpA エネル	電力	イタリア	発電、天然ガス供給事業を約30か国で展開するイタリアの大手エネルギー企業
OMV AG オーエムヴィー	石油 ガス	オーストリア	オーストリアに本拠を置く、中央ヨーロッパで最大規模の石油精製・ガス事業を展開
Engie エンジー	電力	フランス	フランスに基盤を置く電気・天然ガス、その他エネルギー関連サービス事業者。フランス政府が大株主
Barclays Bank PLC バークレーズ バンク	銀行	英国	英国の大手民間銀行。英四大銀行の一角を占め、グローバルに銀行・金融サービス事業を展開
AMERICA MOVIL SA de CV アメリカン・モバイル	通信 サービス	メキシコ	ワイアレス通信会社。中南米諸国、カリブ諸島、米国など18か国で通信サービスを手掛ける
Royal Bank of Scotland Group PLC ロイヤルバンク オブ スコットランド・グループ	銀行	英国	銀行・金融サービスを提供する国際的企業。英国、欧州、中東、南北アメリカ、アジアで業務を展開
Telefonica Europe BV テレフォニカ・ヨーロッパ	通信	オランダ	個人・企業に対し電話、インターネット、データ送信サービスを提供する総合通信サービス会社
RWE AG エル・ヴェー・エー	電力	ドイツ	ドイツ最大手のエネルギー供給会社であり、電力のみならずガス事業も手掛ける
Societe Generale SA ソシエテ ジェネラル	銀行	フランス	大手金融サービス・グループ。世界76か国に事業展開、保険・資産運用業務も手掛ける

以上

## みずほ公益インフラ関連ハイブリッド証券ファンド2016-01(為替ヘッジあり)

ご購入の申し込みはできません。

## ファンドの目的・特色

## ファンドの目的

- 世界のハイブリッド証券等に投資し、高利回りの獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

## ファンドの特色

1. 世界の公益インフラ関連企業が発行するハイブリッド証券等に投資します。
    - ◆公益インフラ関連企業とは、生活や経済活動のために必要不可欠な社会基盤に関連する事業を行なう企業をさし、金融機関を含みます。金融機関については G-SIFs に指定されているものとします。
    - ◆ハイブリッド証券とは、債券と株式\*の性質を併せ持つ（ハイブリッド）証券であり、劣後債および優先証券があります。
      - \*株式と連動して証券価格が変動するものではありません。
    - ◆一般に国債や普通社債と比較して、信用リスクが高いことやハイブリッド証券固有のリスクなどにより、利回りが高いという特徴があります。
      - ※ハイブリッド証券固有のリスクには、法的弁済順位が劣後するリスク、繰上償還延期リスク、利払繰延リスクなどがあります。
    - ◆証券の格付けは、取得時において投資適格\*の格付けを有する銘柄を中心とします。
      - なお、利回り水準や流動性を加味した上で、投資適格未満の格付けを有する銘柄にも投資します。
      - \*ムーディーズで Baa3 以上または S&P もしくはフィッチで BBB- 以上
    - ◆信託期間内に満期償還される銘柄および繰上償還や買入消却等が見込まれる銘柄に投資します。
      - ※組入銘柄の償還や買入消却等に伴い再投資する際は、普通社債または先進国の国債に投資することがあります。
  2. 運用は、パイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッドが行ないます。
  3. 為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。
  4. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
    - マザーファンドは、「公益インフラ関連ハイブリッド証券マザーファンド」です。
- ※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

## 投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「ハイブリッド証券の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「ハイブリッド証券固有のリスク（劣後リスク（法的弁済順位が劣後するリスク）・繰上償還延期リスク・利払繰延リスク）」、「公社債の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「特定の業種への集中投資リスク」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※ハイブリッド証券に関する規制や基準の変更等がハイブリッド証券市場に大きな影響を及ぼす可能性があります。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

## みずほ公益インフラ関連ハイブリッド証券ファンド2016-01(為替ヘッジあり)

ご購入の申し込みはできません。

## ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	ご購入の申し込みはできません。	-
信託財産留保額	0.3%	換金に伴い必要となる費用等を賄うため、換金代金から控除され、信託財産に繰入れられる額。換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.3824% (税抜 1.28%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等

大和証券投資信託委託株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会

一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

## みずほ公益インフラ関連ハイブリッド証券ファンド2016-01（為替ヘッジあり） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○	○		○

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。